

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	キッズいちえ		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		2025年5月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		2025年5月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子供に合わせた丁寧な支援ができること	・1対1の個別療育の中でお子様に合わせてスケジュールや課題の設定をしている。日々の状態に合わせてフレキシブルに対応できるようにしている	・現在行っているフォーマルアセスメントの結果や聞き取り内容を分析し、療育内容に反映していきます。個別療育であってもスタッフ同士で子どもについて考える機会を持ち、ケース検討を通して支援について多様な意見を取り入れられる場を作ります。
2	・こどもの状況を保護者と伝え合い、共通理解をもてること	・保護者同室での療育行うことや連絡アプリを使用した保護者連携を行うことで療育以外の状況の把握が可能になり、保護者からの相談に速やかに対応できるよう心がけている	・保護者支援が充実するよう、療育時間だけでの関わりだけでなく、研修会の実施や保護者会の実施を通して子供だけでなく保護者、そしてスタッフが成長できる場を提供します。
3	・職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されていること	・月1回法人内での研修を実施しており、自事業所の意見に凝り固まらず、様々な職種や職域からの意見を取り入れられるようにしている。	・法人内での研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加していけるように計画的に教育の場を作り対応します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応の周知	掲示板に掲示をしたり、契約時にはお伝えしているが、個別療育の時間の中で非常時等の対応についての話をする機会を持つことができていない。	避難訓練等を実施した報告を連絡アプリで周知をしたり、分かりやすく掲示する等、保護者の方に周知してもらえようとする。
2	地域の他のこどもとの交流機会が不足していること	個別療育を希望し利用されている為、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を活動として提供できていない。	保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
3			